



ASTON MARTIN

## アストンマーティン、ヴィラ・デステで Vanquish Zagato Concept を公開

2016年5月20日、イタリア、チェルノブピオ:

アストンマーティンとイタリアのミラノに本拠を置くカロツツェリア(デザイン・ハウス)のザガートは、長年のパートナーシップの最新作、Vanquish Zagato Concept を発表します。Vanquish Zagato Concept は、2016年5月21日~22日にイタリア北部コモ湖畔で開催されるヒストリックカーの祭典、「コンコルソ・デレガンツァ・ヴィラ・デステ」で世界初公開されます。

Vanquish Zagato Concept は、50年にも及ぶアストンマーティンとザガートのコラボレーションから誕生した5台目のモデルであり、アストンマーティンのスポーツ性、ダイナミズム、素材クオリティへのこだわりとザガート特有のデザイン・ランゲージを融合させています。

自動車史に燦然と輝くアイコン、1960年型DB4 GT Zagatoに始まり、新しくは2011年型V12 Vantage Zagatoへと繋がるコラボレーションは、アストンマーティンのデザイン史の重要な道標であり、モータースポーツをインスピレーションの源とするザガートのデザイン・ランゲージが明確に表されています。これまでに誕生した4台のスポーツカーは、アストンマーティン・デザインの中でも特に前衛的な作品として知られています。

Vanquish Zagato Concept は、マレク・ライヒマン率いるアストンマーティン・デザインチームおよびイタリアのミラノに本拠地を構えるアンドレア・ザガートと彼の専任デザインチームの密接なコラボレーションによってデザインされました。英国ゲイドンのアストンマーティン本社で開発・エンジニアリングされたこのコンセプトモデルは、アストンマーティンならではのプロポーションが維持され、今にも走り出しそうな躍動感とダイナミズムが強調されています。すべてのボディワークはカーボンファイバーで製作され、大きな1ピースパネルを使うことによって、ボディパネルの継ぎ目に現れるスプリット・ラインを大幅に減らしています。円形フレクターを採用したテールライトは、ザガート・デザイン伝統のリアビューを彷彿とさせ

ます。さらにこのユニットには、サーキット専用のスーパーカー、アストンマーティン Vulcan と同一の LED“ブレード”テクノロジーも応用されています。

アストンマーティン・エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンは、Vanquish Zagato Concept について、次のように述べています。「アストンマーティンは、長年にわたって、独自のデザイン・ランゲージを発展進化させるとともに、洗練度に磨きをかけてきました。さらに、CC-100、One-77、Vulcan などのスペシャルシリーズ・モデルによって、さらに時代の先を追い求めてきました。Vanquish Zagato Concept は、アストンマーティンとザガートがともに力を合わせて、いかにしてアストンマーティン・デザインの境界を押し広げるかを雄弁に物語っています。」

「私たちは、アストンマーティンとの強力なパートナーシップとともに、両社の叡智を見事に共有して Vanquish Zagato Concept を製作したことに誇りに感じています」と、ザガート最高経営者(CEO)のアンドレア・ザガートは述べています。「このニューモデルは、50 年前から連綿と続く重要な関係の本質を表しています。」

Vanquish Zagato Concept には、One-77 由来のドアミラー、DB11 の空カプロフィールの流れを汲む彫刻的なリアエンド、リトラクタブル・スポイラー、ラゲージ・コンパートメントにアクセスするためのリアハッチなど、アストンマーティン・コンテンポラリー・デザインの要素が各所に見て取れます。ロアボディ全域に装着されたカーボンファイバー・シルにより、フロントからリアまで特徴的なラインが描き出され、そこから 4 本のエキゾーストが雄姿を見せます。

Vanquish Zagato Concept のガラス・エリアは、バイザーのようにボディワークを包み込み、アグレッシブなスタンスを強調しています。アストンマーティン・デザインの象徴であるサイドストレーキは、DB11 と同様にホイールアーチからドアまで伸びています。このディテールは、創業 100 周年記念モデルである CC-100 に初採用されたものであり、Vanquish Zagato Concept とともにいっそうの進化を遂げています。また、リアホイール・アーチのシャープなクリースがリア・フランクへと溶け込み、流麗なルーフラインと融合しています。

ルーフには、アイコン的な“ダブル・バブル”が施され、なだらかなルーフラインの曲線がそのままリヤウィンドウへと繋がり、特徴的なリア・シルエットを創出しています。“ダブル・バブル”は、1950 年代初頭からザガート・デザインのシンボルとみなされていますが、本来は空

力への影響を最小限に抑えつつ、ヘルメットを着用したレーシングドライバーのヘッドクリアランスを確保するために採用されたデザインでした。大胆なエクステリアに呼応するよう、自然吸気 V12 エンジンにもアップデートが施され、最高出力は 600PS に達し、ドライビング・ダイナミクスが向上しています。

インテリアには、アストンマーティン一流のクラフツマンシップの伝統が余すところなく表現されています。ヘリンボーン・カーボンファイバー、アルマイト処理されたブロンズ、アニリン・レザーを組み合わせ、ダッシュボードを製作し、ベントやロータリー・スイッチには豪華な素材クオリティが明確に現れています。シートやドアセクションには、ユニークな“Z”パターン・キルトがあしらわれ、ザガートのイニシャルである“Z”が、ヘッドレストにはエンボス加工で、センターコンソールにはステッチで、それぞれ施されています。